

## 中間評価結果

大学名	一橋大学
研究施設名	経済研究所
拠点の名称	「日本および世界経済の高度実証分析」拠点
認定期間	平成 22 年度～平成 27 年度

### 1. 拠点の目的・概要

- 政府統計マイクロデータの利用環境を整備し、データ・アーカイブを拡充することによって、利用可能な状態にあるデータに直結した実証研究を進め、あわせて最先端の分析手法・理論の開発によって得られる確かな「知」をもって、精度の高い政策評価・提言を行う。
- データ・アーカイブの整備・拡充と統計分析手法の開発を基礎に、日本とアジアを中心とする世界経済の高度実証分析を深め、学界、官庁、中央銀行、国際機関との連携融合を進めて、理論と実証の相乗的な研究効果を包括した制度・政策研究を発展させる。
- 「アジア長期経済統計」(全 12 巻の予定)の作成、日本産業生産性データベースの更新等に加えて、物価・資産価格のマイクロデータ、高頻度データを用いた研究を進展させ、物価プロセスの変容、金融政策の運営、金融リスク管理の分析等、現代の喫緊の課題の探求に資する。

### 2. 総合評価

#### (評価区分)

A：拠点としての活動は概ね順調に行われており、今後、共同利用・共同研究を通じた成果や効果が期待され、関連コミュニティへ貢献していると判断される。

#### (評価コメント)

共同利用・共同研究拠点として、政府統計のマイクロデータの整備・提供や多様な共同研究プロジェクトの推進、学術雑誌の編集刊行、優れた研究成果の創出などを通じて研究者コミュニティへ貢献している点が評価できる。

今後は、データベースへのアクセスや利用状況の調査など、自らの活動状況の把握に努めるとともに、コミュニティからの要望や海外の研究動向を踏まえた活動が望まれる。